

つていますけど……。

■：いよいよTTPP（環太平洋連携協定）で関税の多くが撤廃される運命に。自民党は関税撤廃の例外5品目を「聖域」として扱うよう決議。さあ、何処まで守られるでしょうか。コメ、麦、牛・豚肉、乳製品、甘味資源といえは毎日の3度の食卓に並ぶものばかり。これまで77.8%（コメ）を最高に200〜500%の税率で価格がつけられ、生産者が守られて来ました。逆に消費者は高いものを食べてきたことに。さあ、フタを開けたらどうなるか、じっくり注目しなければなりません。

■：南海トラフ巨大地震の予測にはあきれさせられます。上、下水道利用困難に陥る人は約6600万人以上、停電軒数2710万軒とか。被害総額220兆円。これは東日本大震災の約13倍。東海、東南海、南海の3つの地震（推定震度9）が東海沖から九州沖を襲うというわけ。まあ「日本沈没」ということに。天気予報にはじまって災害発生予報は当たらないのが普通と思っただ方が楽ですね。何回宝くじを買っても当たったためしのない当方はタカをくく

■：内閣府はがん検診の世論調査では、検診率20〜30%の現状を探ったところ「受ける時間がないから」が47・4%、「がんだと分かることが怖いから」が36・2%と上位。「健康状態に自信あり、必要を感じない」が34・5%。きつとこの人たちが国を支えているのでは。昔から「医者嫌い」な人が周りにいました。少々の痛みや不具合も「たいしたことはない」と勝手解釈して病院の門をたたかない。今は病院の待合室は満員の盛況とか。「赤ひげ医師」などいない時代だというの。

■：大学が「全入時代」を迎えたのはいつだったか。経営側は頭数がそろえば大学はもうかるもの、と思つて、それこそ教師の質は問わず、もちろん学生の頭の中も。大阪の私立大での「やらせ受験」では、受験を「代行」した生徒に1回5000円を払っていたといひます。国からの補助金欲しさの汚いやり口。経営者や共謀した教授たちの顔が見たいものです。全国に700以上もある大学。そろそろ淘汰の時期が来ているのでは。

■：新聞の社会面記事に言葉のや

り取りが多く出てくるようになりました。ある市の本会議場で、市議が市長に「冷血漢」「確信犯」とののりして名誉毀損に。清掃会社社長が医大職員に発注業務で職務強要の疑いに腹を立てて「爆弾落としたるわ」。校内でタバコを吸っていた生徒に「お前は放火魔や」とどなりあげる教師。何処かの学校では50代の教師が、言うことを聞かなかつた生徒に「アホ、ブタ」——こまて来ると罵詈雑言も低俗になり、発言者の人格毀養を疑いたくなります。「デスマス」調の丁寧語がテレビ屋の影響でなくなりつつあるという危機感も分かるような気が。

■：顔も見たくない人間——故島田紳作とかビートたけし、田原総一郎政治家では小沢、菅、鳩山と続きます。ヤユするのに色々な表現があります。ヤユするのタイコモチとか「汚濁の泥の中ではねるムツゴロウ」世紀末のゴキブリ「ジンマシンが出るようなおどましい野郎」などなどキラがありません。酔狂、洒落も少なくなりましたね。言葉の貧困、自由闊達さを削ぎ取る風土も寂しい限り。真、善、美を男の美学とたたえたのははるか大昔のことでしたかね。

月刊公論 MONTHLY
KORON

5月号 第46巻5号

平成25年5月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。